

## 9-5 地震のことを考え、話し合ってみよう⑤ — どのような被害が起こるかを考えましょう

前提となる条件（地震が起こる日時、震度）をもとに、地域でどのような被害が起こるかをグループで話し合います。



地域でどのような被害が起こるかを理解します。



時間軸

### 実施内容

以下、説明文【例】をもとに進めてください。

#### 1 起こりそうな被害の検討 (5分)

→資料9-4

##### 説明文【例】

（資料9-4を配付してください。）

先ほど提示した条件をもとに、地域で起こりそうな被害を考えてもらいます。考えたものを赤色の油性ペンで地図に書き込んでください。また、ふせん（メモ）に、「被害の場所」、「どんな被害が起きるか」を予想してふせん（メモ）に書き、あてはまる場所に貼ってください。なお、起こりそうな被害については、下記資料を参考にしてください。（注1）

##### <起こりそうな被害>

##### 通行止め

まず、地震発生時に通行止めになりそうな場所に赤色の油性ペンで×印をしてください。そして、あてはまる場所と被害の状況（通行止め）をふせん（メモ）に書いて貼ってください。

##### かけ崩れ

かけ崩れ等が起こりうる場所を赤色の油性ペンで囲んで斜線を入れてください。また、あてはまる場所と被害の状況（かけ崩れ）をふせん（メモ）に書いて貼ってください。

##### 建物が倒れる被害など

建物が倒れたり、橋などが壊れたりするなどの被害が発生しそうな場所を青色の油性ペンで印をつけてください。また、あてはまる場所と被害の状況（建物が倒れる被害）をふせん（メモ）に書いて貼ってください。

##### 火災

火災が発生したら、燃え広がることが予想される範囲（木造の家がこみ合っているところ）を赤色で囲んでください。また、あてはまる場所と被害の状況（火災）をふせん（メモ）に書いて貼ってください。

##### 津波

津波が来た場合に、被害を受けそうな場所を青色の油性ペンで囲んでください。また、あてはまる場所と被害の状況（津波）をふせん（メモ）に書いてあてはまる場所に貼ってください。

##### その他

その他、想定される被害について、青色の油性ペンで×印をつけてください。この場合も、あてはまる場所と被害の状況をふせん（メモ）に書いて貼ってください。



被害を予想してふせんに書き出し、地図に貼っていく

#### 2 地図への書き込み、ふせん（メモ）の貼り付け (15分)

##### 説明文【例】

それでは、今説明した資料を参考に、グループごとに作業を行ってください。



グループで話し合いながら作業

#### 指導ポイント

各自治体で作成している地震被害想定調査の報告書があれば、それを参考に、地震のときに揺れが大きくなる地域を紹介し、それを踏まえてどのような被害が起こりそうかを考えてもらおうと、さらにリアルになります。（中学生以上向け）

#### 自主防災組織の関わり方

各グループにはりついて、講師の指導を手伝う役をお願いすることが考えられます。

#### 準備するもの（目安）

準備品	数	備考
資料「地震で起こりそうな被害を考える」	グループに1つ	資料9-4（配付用）

#### 家庭への持ち帰り

地震の際に地域で起こりそうな被害を家庭でも考えてみてください。

#### ひと工夫

透明シートに余裕があれば、別に1枚用意して、そこに被害の状況を書き込むことが考えられます。そうすることで、見やすい地図ができます。

資料9-4以外にどうしても地図に書き込みたいものがあるかもしれません。そういった質問があったら、自由に書き込んでよいと伝えてください。

教材で示しているペンやシールの色は、ひとつの目安です。自由に色を決めてもかまいません。

#### 注意事項

油性ペンを使用する場合は、換気に気をつけてください。

ベンジンはティッシュペーパーに浸して使用してください。また使用の際は、こぼさないように気を付けてください。換気は十分行ってください。